閻錫山、敗戦を報告

敵を追悼中の我が部隊は昨六日午後一時頃新安東北方地區

平漢戦線 わが 部隊急追

上海閘北戰線

が陸戦隊―航空便が民家の屋上より機關銃で掃射中の

我が軍は政竹の勢ひを

九國、不戰條約違反

ものとして注目されてるたが経動 日本の對支行動は九ヶ関條約及び メリカ政府の歴史硬化を示唆する

【ワツノトン六日阿盟特派自發】「何等言及してゐないが國務省當局

ハル長官言明

に迫る

問合せて来るものと強期してて来るか着くはアメリカの意 てゐるが之に對するアメリカ政府

米國正式聲明

『日本の對支行動は

と参加するや否やはの他アメリ

【東京電話】 外務省資相情報的

一掃し併せて我が同意を歌座せ

する敵を緊逐精治设河船に沿出し

めて準直、明白に是認しョーロッパ 交界に一大衝動を與へた、今日までイタリー政府は日安納里に對して終始限目的原果を 日本政府の態度を正常と是認する意 向に傾いた様子で 六日自ら論 説を掲ぐるに宅つたものとみられてゐる来たら物とすイタリーを新聞好に朝合に中立的態度を守り明白なる態度表明を避けてゐたが、ムッソリーニ 首相はベルリン 訪川後

|ローマ六日同盟]| 4フソリーニ首相は1日午後前沿派上に突血最高した陰敵を突袭、初めて 日 支紛事に 對する日本 政府の態度を極

歐洲外交界に大衝動

あり、最後的局面をかけ中国釈釈における高宗祖の要動に延即を歌き不満樹用力を発守せんと大郎南釈釈の職民は戦に駆いて急騰に青方に疑知北支作県は非常な造師を示し贈的時候処を保持・ 那事の骨臓を併加した。北支における二つの心臓疾患、太原則治域は二つの息軍の則に今至風前の此、

九分通りわが手中 独浦蘇の我単は | し四地の敵と揺戦の後これを占領 | てる備か十六支里の地域に迫

の大抵抗算を課題しひたすら前走。度十日、低に涨雨及び表質期を帰っ手中に確保された三日一葉に復州占蝦山東北陽の職[した、實に資州をほよつてからず。黄何以北の批爭鞠

る大道を経て太原に至る南方二十五里である。かて北美における東部、西に所ひ太県大徳証を重す。これ亦六日前原平鎮を占據してこの地より坦々た山西北部の栗地を完全に戦した我が北は南部と南方より行動を起し続けの然かとはて東北村の家谷追らんとし、河北東部は今季だた我が手中に貼しつつあるが一方世代、繁学、代籍を設築、

あ 指移が英米階國を刺

!祿賞。主法維

解決を扱った形者が、又人所

『瞬は出けれど』で脚大下 を群て、茲に依々競政!

田敏彦

0

成にこの女あり、軍隊の人

【線外赤】

待望の新連載!!

よ際上来女人別れて権大下は で 一年 一世 くっればの地

他の故郷の國定忠実は るといる話を聞いた中

與味最高湖小說陸

濟南 太原陷落迫る

平原(山東)原平鎭(山西)兩地を占領

七時原平城城四側に遊りし疎竹の

注金が刑務所及合議は十三の所日本府がお供護観答所及合議は来

觀察所長會議

成は中島戦和) 側の前には互がた。

戦戦りだけで日本の戦 は目だ、喧響の用なる

澤田中尉語る

工一分龍山原後列車では16(第七教官)九日午前

人

地支資 (朝鮮學務) 十日京林 化支上り七日人

新野を曲げ出した 申立的態度でルデアメ

ければ焼砂器反となし 何時に、如何ころ軍事 如何なる東京行動も 頭かららか、その調

聯盟總會

決議案の採決

を那年の原地が如何に単固 お前門の際に到る。 を組るであら ものであることを知ら 約季度を終的差反でた け借しみの一言

六日午後五時閉會、二十三ヶ國路

我等点國臣民へ五二個愛協力シ以テ開結

海 事题は日本人を敬意

和を念板とするわが公明なる館

のでケーッと不取権的とらいは 十三を傾によって関眼されたも

度推佛身

皇國田民ノ書詞

マス・双吉殿鎌シテ立返ナ州イ陵民トナ私共へ双吉殿鎌シテ立返ナ州イ陵民トナ 私共へ心す合セテ天皇陛下ニ忠義ヲ盗シ私共へ大日本帝國ノ臣民デアリマス

が公明なる態度を

自相、容直に足認

差に不常成款とは一種何を規定

いいにあり、言時に死といいにあり、言時に死

九ケ國條約こ不戰條約 豆児がプリアンによって提唱せ られ、一九二八年時の米調々跡

盗ふでせる。荷河の水

濁つであるかを悩るだ



員派特廳後

田時門

●河流間間を対トニク●

花門以及を

病

院

資本金零千萬國 印所大田に支店あり 地大阪に支店あり 地大阪に支店あり

基督教青年會

一定施設費を計上

| ケ月で倍加して六萬二千名

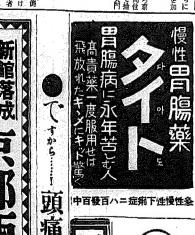
明春三月までに完成

海前線決死の活躍

局長が所長兼務

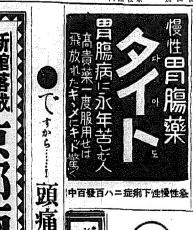






ハラ胃腫丸

御會葬御禮 渡邊儀一





八日より… 二日まで(四階ホール) 陣織物態 倉置

大後軍作品遺は追悼展 後後・小型カスラ協会網鮮支部 柄ネタタイ……三階新館 子……三樹蒜館 京 城

折

The state of the s



三 · 東

京 堂 **榮**

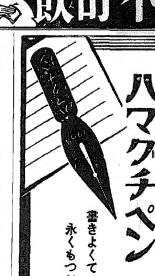
普通銀行業務 - Maria Ma

寒 **會社朝鮮殖產銀行** 京城南大門通二丁目百四十番地ノー

頭取有 賀 光 豐

東川 晃

京城腦病院

















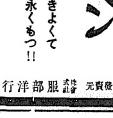




















皇后陛下の 御歌

森さんが短冊に翻弾し

勇士遺家族へ贈る

の短冊百五十枚は三日府内 の短冊百五十枚は三日府内 の短冊百五十枚は三日府内

眼下の敵を睨む

文字山の激戦で名譽の頂傷をした

一木上等兵の手記

木部隊 [00]o

新野口商台 新野口商台

9、 画天下の標準に登録にの監督の的

門することになった 名は11回程度 成時家族を 旗亭の赤誠

をいまりません。是のはありません。是のはありません。是のはありません。是のはありません。是のはありません。是のにありません。是のにありません。是のにありません。是のにありません。是の世紀に用のつの順へ

十五日

てるたがこれに指令料を加 て女将をはじめ征日一領和の 大田】帝日町料で富士なで が強い赤宝内に収合物を開く

|全部所以一回が秋の窓 収穫手傳ひ

マクニンノ役を放けりへ





心海洋耐切層告

社會式株造酸鮮大 · 新田県 初鮮汽船田帆成告

屡北道民の 献金

成畫

第!

大惠直行

可按此同次配作出明

2十萬道民の赤誠 **咸北號機に集まる献金の渦** 重爆機献納

豫算額突破の見込

成有扱いのもの際を含すれば概算 に七萬風を突破。當初の十萬回

業報國

季仕作業で一萬五千餘圓

慶南道民七十二萬二千餘名の汗で生み

女二十三萬三千三官十一名、合計一が、親親作業によつて得た勢銀一女二十三萬三千三官十一名、砂に 二時間乃至 十時間待事した 下一篇二千四百四十三名小程图 収纒めて國防献金 B五千八百九十一圓廿三雄は賴助

側の廊と飲つた煙弥郎は、一体的種上金一(身山線天子山)方面の歌碕で批売体戦を、(括弧内は受情地)、北京中旬から下旬に耳つ、日原縁に左の如く公衆があつた。

原除への公報發表

は関風の萬分の一にも報ゆべく

傷病兵慰問

鎮南捕の小火 (食店) 所裏で石油空運修理中一北道間では松本内称的長はた

不祥事再發を慮り

咸北の鰮業者自重

湖ブルゲルマン島湾合和八個の

男女三十萬人出役

「釜山」六日午前十時十五分府内|国を補防戦金として六日重兵分隊

**桝南浦】平安殿道の戯南浦。
配 | ぼつかなく質媛麗田の魔偸送に支 | を受け道立半境警院に入陸戦市局**

分に比して備か七分の差でいよい

鉛管を盗む

平壌』六日朝風襲つて無温念様 流)度六分で昨年の最低三度九人々を狼狈させたが六日の最

氣温急降し 冬氣分漲る

ルの敷設は配給遅れて

明春の開通を懸念

煙のやうな話

正式取調べを受けることになった

京城から元山へ發送の

煙草大量雲隱れ

貝の山を前

のだから元山撃で紛失したとは思

警官殺傷犯人

血染の日章旗

中であつたが四百四十五份職主報問令ではかねて鳥風動間段砂 既南部 | 府内朝鮮人側で組織 ので七日鉄南加出城の草味丸 松興會の 慰問袋 八千八百名も醵出 大印】本場膜生以来第一線で **慶北道職員** 勇士家族の

金一同申合せ開防飲金に売

普校生瓷蠶献金

皇軍を煙草で慰問 要苦を描つた後尚七時から十時ま 坊さんの赤跛

二日酔せず

倒血止力强出抽臟脾臟脾 ゲボムロ



光山山帆 代理街 郊都運送支店 西湖水山街 代明局 當 田 陶金



の婚職な数を操したエスガキをの要因例数では是非この半島銃 経入な、関防婦人食さい他子 起軍人会 君奉服 防洪城

はずである様さんの根間袋には必

間の用に使用されて、一層 の有様を、晩椒の粉土へ是非お目

定價廿錢

で庭家

&に一組宛壁して近く事も思ひ田 下さい。また将来の記念として一

ン本語では、このエハガキの質!

は最も登録が深い事と思いれます 戦柳第一級の京軍に見てもらり事 ◆その他各方面とも、このエンガ

けて真軍原則の支撑を歪かせた

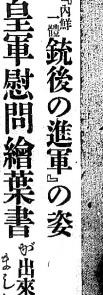
接各部隊に送るもよく、またの 可会部はじめ各地の職隊本部に 戦地への競送を依託するもよく

頂て見を後続

し、月下の皮での申込みが段野の中込みが段野

あるを知つた各 ガキ製作の企て

鮮總督府内に本部を置 部皇軍慰問金として朝 のて得たる利益金は全 質する事に致しまし 降です。なほこのエハガキの のエヘガキを買つて事事時間の 重の皇軍専門をする てゐる朝鮮軍事後援 鉄後の半島の窓を開放那製し て下さい。わが朝鮮銃後の有様を



愈よ本社で發賣致します

エハガキ賈上げ益金は全部皇軍慰問に献納



るおはあちやん そつと起きては真心こめた慰問意をつく 天」と朝鮮軍愛國部へ國防献金の少國民

◆輝く日の九……自章族は全半島の町も……直貨中よる……◆勝つたく)と喜ぶ子供達 れた誇りを感ずる村も戸毎に勢よくはためき、日本人に生 Q萬歲·萬藏! ◇勝つた~~と喜ぶ子供遠 驟頭に現はれた熱蔵

◆戦地思へは……お孫さんが眠つた後で

男をおら……◇南総督の揮毫一赤心道

◆一針毎に真心こめた千人針の一鮮一體 學校の生徒や一般の人々が毎日多败窓拜 國防婦人會員たちの皇軍への奉仕 して皇軍の武運長久を祈る -朝鮮神宮の大前に各種の閉體や …◆全鮮心を一つに武運を と要属婦人食や

語祭

が、 一人 自分の面積の数に使いるか知らないがった。 たが知らないがった。 ものは、関助行でなく 否、郵投で放はつた音類など → 今現に**概えてゐるもの** の激音でも、紫外部れたものが る語彙の数は概つあ。中に拠み込まれてゐ

われくの敬してゐる際

二五分割伍(出)竹内司古人七大時お話(名)松水花並入六時

今晩のラヂオ

時三〇分務演(三) 法學博士課

Oミプリ石峰本舗 MX・MB 丸見屋商店・敷品録

錢。 東京 海田 小川町五 二四

施村 (平月以) 十五致、原京·赤

館群ですから服用にも振器としばればです。又美味くも飲ます

経験された方の傷らぬ告とは 夫こそ唯の一度でも

なるか、また、現を貼すこ

語彙の異菌ということは自然

が早病液

怖るべきは風邪で 類形は土壌基土 小本職氏原督教教 内容別記本的唯一の です。乾燥し切った此頃の鋭い空 軍なる単加答見だとて油断は大敵 **見つまりは呼吸困難の基** 今すぐ 番信用あり旦簡便な此界病薬を 如何に丹加答見の多い事か

中、入文第述呈二方の説明小朋子 住販器付款形松入七十編 特条付贷来の個人四十編



マネキケが必める

り上日四月十

門長 別元 門30 スーユニ・日京寶政

7,16 3,16 11,60 人 夫 雀 孔 9,00 5,00 1,30 弊スーユニ日朝・日京

8,16 5,16 1,46 談 線 の マ マ ் கை இயில் கூடி

沒加時數上

龍央中部門

すでみ休お今只

表發ロプ温水日近

展『一寸兄いに金の才優が。様に 文『エ、伊程屋棚五郎が、一寸お伊に又思えるのブー 勘「質は是々斯ちだ」 依ると何だぜ田來なかららな、甲 とこ 例に又感心をいたしました。 と聞いて一回の者が枕五郎の義 | らば。今日はをらんといつて歸し ですこ

別から此方男庭に金を使つてある。九「ナニ伊賀が拘正路、今日御鶴 から、何は然れ、後週の方でも金

○[されが宜からう] の出来るだけ織らでも狙へて躍か

18-01 18-01 18-01 18-01 18-01 18-01 18-01 18-01

鳩五郎は労闘を消め流物を前替

勘「恐れ入りました……」 九「イヤの智」を見えたか」

特合に推移

展「呆れ返ったね、一晩女郎質に相談が独った」 行ったばかりで今日升受をするな

目譲りを願ひたいと申します。

をないひながら、上の家来のやちとはいひながら、上の家来のやち お言素だった。彼は党家和へ町人で彼に目通りを申し附けるといふ

文「左便でございますか……

局引服券語所引服數朝

勘「毎ちなから毎社既で大陸を申 九一十十、お前ち無事で結構だっ



神田伯治演 なない 颇井耕造品

樹「即京老乙部九郎長衛機(重っ門「ア、元崎、何處、お通りだ」

ラ 内「別ひます、別ひます」

| 樹| 高階といふのを買って、敵よ | 樹| 一寸今日お目通りを願ひたい 様かございまして、どうかお収入



| 文「上へ上つて仰つてゐる」 九『何ぢや・田入町人など塗つた 文「ヘエ・中し上げます」 奥へ発りました山本交助"

元韓、只今申上げたら是々と仰し

全日御前へ召されよりと仰せられ

を急いでやつて来たのが、赤坂即、たり、関連神・統能(在らせられまり、通用門(会りました。 するか……それは何よりの事で、おいます、通用門(会りました。 するか……それは何よりの事で、すり、ま坂即、たり



那側が收容せる死禮及負傷者敷はその三倍に上るものと見られ、友那側の損害は實に十五萬乃至二十萬といふ鶩霥る損害は強想外に大で、事變發生以來今日まで現地に澄薬された敵の死體敷は凡そ五方の多數に達し、旣に友 所に激烈な戦闘が展開されてゐるが、我方はよく戰果を收め所期の日的を達成しつつゐる、これがため支那側の [上海七日同盟]|今回の事變に際し支那側は中央軍の精鋭を上海方面に集中、必死の抵抗を續けてゐるため連日隨 中央軍は精鋭大半を失ふ

め湖北、湖南方面の人口多き地方より壯丁を強制徴集し、師團編制を急いでゐると言はれてゐるが、その裝備べき多數に上り、中央軍はこれがため既に第一線精鋭の大半を失つてをる、支那側はこれらの損害を補充する は勿論充分なるを得ず、 急場の間に合せ程度で支那軍の抵抗力も漸次減退しつつあり、

廣東附近の軍事施設 粤漢線鐵道を爆撃

が施設及び身連線輸進を爆撃航空隊は昨六日度東附近 被壊し原東地方的城城は「江口、前間、巻鳥の各郷機及び池

|江口より最近移撃した戦闘兵工版||あるので奥地の消息は不明で48名 【香港七日問題】六日 夢 変 教治 | 数に爆撃を横行したものと見られ

撃立り 総路選打口飛力松盤の離構を繰 月様き保険を設行午前九時〇巻の 総路選打口飛力松盤の離構を繰 月様き保険を設行午前九時〇巻の 線だる5減燃並及び各地の電車施 中の表が液車〇〇機は徐州、**職**線射線を見目に能々と北上車が搾助 【天津七日同盟】本日〇〇円管機 や賦與數例を投下して、支那側高機首を果に向け東山上空に達する

到る所敵兵の觀

禹城―濟南―泰安間は大混雑

我

○機の偵察

事施設、軍用列車に爆撃を加へ多党州、奈安など批准数合要地の軍

上海七日同盟』片山中尉相郷の 附近敵陣猛爆

敵陣地を奪取

厳雄に動し猛烈な境撃を加へた 「る受けつゝも集事仏教の任務を果」び敷留の軍用列車が充浦しる際と「けに戯の防衛は鉄重を纏め、之を「ここ」 南郊外において、蔵苗県礎の経撃 間には北方より潰走せる威部隊及 唯一の交通路役前大路領の間門だ

寄せてゐたが、茲領納外一名に從し 凝口驛(濟南の北)南北十數哩 [7] 亘

全軍の崩壊は日一日 に護送さる 張自忠南京

自忠は、蔣・の身を戦後某の下に一めに使用してゐたものである 七期長にして前天歌市長たりし張一た、右は蛇が我が飛行権球論のた 【上梅七日同盟】 二十九軍第三十一京族(地上に張るもの)を競見し 那解が飛行機の合闖に用ひる大日

介見、一切を報告し身の振方につ

我空軍欺瞞に 日章旗を使用

平原古鏡の際、競役果建下の八十 一師から南獲せる物品の中に地上 【天津七日阿盟】我が軍が津浦郷

つつあるが昨六日の重要症候の經

ガン七千罐を鹵獲

年根據地ある金銭見之に破職を加

一方四管別山脈の悪鬼窓式を占領

勝川機関は共戦南路、豫海軍、駅

際語多数官民の盛んな出理へを 日午前九時五十三分推列車で來聞事、天谷椒青官、松伽屬らを陸へ七

医相を指き具備的人地につき窓両 ず、天谷 心水め、更に七日首相官既に競野

記点せる原田開華男と春見京解 「阿日に互り興洋に西國寺公を助

脱路のため廿原京都北知

へ続するに至ったので右路川世

し、同山脈地帯の敵を関してゐた

陽明堡の敵空軍根據地で

関形行場中間の敵六百を戦な

第二子致、ガソリン干燥を出換して六日間協興の商を難該し破竹の

成、概局の適度につれ時局の政治

新介地山里科域近氏の人参郷を砂って受け、直ちに教養し場所針の案内でで見れなに接見し場所針の案内で

な題で再び教習用田服所

は動物が下をみて府内に

な言公野は、民間登

非にした、席上根側工

勢ひで原平の北西八里の點を引續

き消逝しついあり、かくして山西

一般、飛行場内にあつた飛行用一致が郵除の一部は支策と相呼騰し

山西の支那軍

早くも動揺

省中心部にまつしぐらに突入せる

選決定次第今月中に設立したき方

いては修介石の命を待つととした

さるもの他に二提り 更に地上部 歌師機九機を撃墜し(確實なら一、【南京】空中職闘において敵

海軍航空部隊

全支に上

会に我手に踏した、一方その○

変 夜半豊家村、林家宅を撃取しこの場際迅速建攻中の専門部家は六日

(来終縣 (大同の南八キロ) に鎌 する山西軍ルで一萬に對し攻戦 を開始し且下盛んに攻撃中

火津七日问题】午後五時准發老 攻撃を開始

十川、沿護爾部隊は去る四日

空頭中のところ、本日正午以來政一方面の敵の要案だる與所部諸は完一占據し、日下旋就を追撃中である [羅店領七日阿盟]羅店館西南方の に述なる安建部誌も七日米明行動

續々敵陣を占領

を開始し肚標な自兵職を展開しつ ◆午前五時十分数末宅、余宗店を

地は子母忠策と支替し思集一帯に 元子學出年17年前以上に達して マツチ其他の大小工場は勿論一般は工場、ピール會社、油の、標準

- 成す了一個別別、別行機変遣 三、北方方面(旧別別、別行機変遣 三、北方方面(旧別別、別行機変遣 三、北方方面(旧別別、別行機変遣 三、北方方面(旧別別、別行機変遣 三、北方方面(旧別別、別行機変遣 三、北方方面(旧別別、別行機変遣 三、北方方面(旧別別、別行機変遣 三、北方方面(旧別別、別行機変遣 三、北方方面(旧別別、別行機変遣 三、北方方面(旧別の別)、「一般面面引け極心と現代とある・成す 「一、市支方面(旧別別)別行機変遣 三、北方方面(旧別別別)、「一般面面引け極心と現代とある・成す 「一、市支方面(旧別別)別行機変遣 三、北方方面(旧刊版別)、「一般面面引け極心と現代とある・成す 「一般面面引け極心と現代とある。」

飛行用爆彈一千發と

廿九軍敗殘兵

故城に集

絲

汽機汽罐高壓即簡土木建築鐵工機械工具

敵は全く戦意を喪失

は、青島市内が構地帯の治安は比 【〇〇六日间記】青島方面の収況 世紀の手で完全に推荐され、総統

青島市內平靜

は戦争であったが、際に張路を C及り、更に徳州より親帝までは 東方・野・丁九年は陳帝方面に向。ますく、欧軍の無緒総理りを見せ 東方・野・丁九年は陳帝方面に向。ますく、欧軍の無緒総理りを見せ 東方・野・丁九年は陳帝方面に向。

放に裏箱中である。間は飛行機の、一般へて跳消線を接続し河北岩塔松 | 坪地ししいものは見気らない 内閣補佐機關さして

は設立か

中国共産新型コンクリ

後の推抄と内外の路情繁を労働し、チアを始め羅強制、潜水戦を散金し、オフチアブルスカヤ、レホリニー 特許 中根式菜餚卷揚農城

、く近衛首和を中心に各方面の意|指揮に當つてゐる 会官ヴイクトロフ氏が作戦の最高 開城視察の

京城岡崎町

中根機械合名會社

輸佐機関として開閉機関を設置す

【開城電話】大野政務構能は専制 理總盟 **昭和十一年七月一日現在時**間地關

酒井婦

京城府明治町一丁目(交衝町

原系型投稿 原系型投稿 日 三 第4 金拾字画 日 三 第4 金拾字画 日 三 第4 金拾字画 日 三 第4 金拾字画 日 五 在 日 画 五 拾 述 日 三 第 七 1 画 五 拾 述 體秋岡商會 銀管京城 | 二五六十

教時代の 與 服用 容易

強壯劑

缺落症、病後恢復期 炎、莲海熱、性的减退

胞の活力を昻進 神艇並に身體細

食泌不振

雨を冒心攻撃を續行

既定方針で邁進

大打撃を與る

| 政情(病用西方孔で二十五里)| 歳 〇〇根採地を飛び出した〇〇般が | 本を場職機関的打撃を興へて開選

地国の内政干渉を排す

縣(鐵術 西方二十五年日)年 縣 殿縣。 邱縣方面一帶は出水掘しく (曖騎南方二十キロ)三地駅の衛間 | 見渡す限り一面の大洪水化して欧| 油房鎭附近運河で したが、武妙、臨清運河以西より

| 方十キョ)省近の黒河と様式 | 佐郷を終り、扇道池の裏可とこって|

就いて各主任の配明を求めること 〇佐方文次郎氏(東新頭郡)平壌 職業部介所に現はれた特殊傾向に として各地方に於るる失業者狀況具體方衡」でおれと共に窮取事項 郷せしめ朝鮮の各種事情に即した

地へ 大海南投送の前に鉄大乗頭事が至の しいコンクリート 金組張りの素晴ら

> 特に一般虚闘 **亞養障碍、神經衰弱** 神身の過勞

食慾を増進し、

質識の招集を正式に探探し、 る機器を目的に九ケ関係科技 東京電話」聯盟總會は日支紛爭 **九ケ國條約會議は参加拒絕**

外務當局對策を進む

一・條約神聖の原則を保持する

附近の運河上において

ルー・ズヴェルト大統領は

十月五日シカゴにおいてこれら

脳関した。更に大統領は世界の

行し、徐州大安間において前行中「日せられた。その主たるもの左の「師から飛鹿は織の水震脈況を聞いた前回に引興合戦間親の鎌華なが、武官に討して定郷叙蔵の御沙汰の 暗礁跡に動産。途中鮮中で柳川女中時数な――昨天日外の魅烈行称、武官に討して定郷叙蔵の御沙汰の 暗礁跡に動産。途和鮮中で柳川女「祭卿七日同盟」激献東領部で前。別中府以下「干二百二十五名の文「発り後上二千海里を秘険。午後三千海里を

た池を改造したものだがの池は元博士がガマを飼

う 外輪は進く内輪は深

が出来た。▲二重にた

サガマが住んで居り

たところは概かお仲間

敵軍用列車を爆破

不職條約並に九ケ関係約遂反なり 長官の名を以て、 教が對支行動は て日本の適正なる行動を非難 脱を競する一方九ヶ属体

伏の推荐に重大闘心を排ひ、顧問 研製動による公正なる行動に對し 間が一致して反目的空氣態厚とな リス・アメリカを始め帯整合

『アメリカ政府到達の結論で

沈を進めてゐるが、聯盟の九ヶ國|國籍省が六日發表した新日瑩明書 何素の惡化に書席するため封策者

の状勢、並に日本の修約上の義で可決された支那における現在で可決された支那における現在公使より二十三ヶ個諸問委員會 公使は河岸に十月六日幣と記憶が右根佐野を投煙水配した日道性して来た 採用に現在の紛争が起った貧時

府に到し釈迦中止を動告し平和

支戦線 皇軍室本〇〇八向け行進(平波線)

聯盟採擇の結論とは一致』と の特許が回復されることは、ア、従って條約並に関欧道路救力 リカ國民の最大の関心事であ

【東京電話】長き通りでは七旦読 授稿版章(各連)

竹麻事、笠井隆太郎 夢、終つて三千餘名の城夫を職員・少称・中村・菅吉 の範銘石の品位で、搾場駅配を見上村清太郎

に生業報酬と。農園臣民の行

かと博士は「え、今便は中ガマも出世したわけで―」

高橋政治の案内で總費はデルミ た。午後四時利原郷山に着く、

ムのヘルメットを狂り坑道内

が何時もたかつて見つめたことで進りかよりの子

▲「立然になりました

態度方針を強調

照風丸で一部した。八日は蛟津に き態度方針を強調、多大の感激を

のハッ目機が手に入らんので探 つもりで位つたんですが、既覧 の深い方に朝鮮八ツ目職を倒ふ

かが、 絶質はあわたとしい 凝発に

の思いのが『君も物は

ガマを飼つたり八ツ目 ころですよ」といふ

利原鑛りて坑夫や職員に 咸南北視察の南總督

國務 養生る七月十

関係を使うる諸原則とれる。
支急における日本の行動は原政
する。 メ リカ政府は極東にお 国の安全を放射に陷れるものな そのものを考載するものなると、情報法の無軌道は平和の理池

【護調にて大津特殊具建】南總督、京國国民の整領を昭和した、新師 皇國臣民の行くべき

は七日午前七時新浦の旅館を出發「公園の燃州丸運動碑に参拜、日路

再車パルテック糖尿管をは六日補【モスコー六日间題】ソヴエート

が一番話

Control of the Annual of the Control of the Control

いり出せば、グロ経味で | 東モクソールを搾り出 うも一人がででもガマ

2 趣味になる」とまる

今度は八ツ目から若辺

近〇〇月四・五〇 三五〇月三・五〇 一五〇月三・五〇

ク艦隊演習開始 蘇聯海軍パルチツ

。奇獣怪略の南端的風景を原門す が軍の行動は換風の如く、代州 展及西管浮山脈の要地を制した 大は七日同盟』山西北部第七合 | 莇畷線的形象地の北端を完全に把 、六日原平鉱に我軍を演載すったある。 南下の我が部隊は南五帝山殿一西の心脈部は我が理論に骨壁され 掘し、開鶴山の本郷太原を鑑に発 我が軍は、原平の兵を合し山西の

> の総財政院に就いて陳情するとこ 工場務教に騙する経過方、蛇原へ食識所食順上り高倍者運動校設を

領に伴ひ今後職業和介の機能を使 別任を持つて開催されることとな 管臓は本月下旬柳生配食課長の 即公益職業和介所主任官事物打 全鮮公益職

後四時自動車で開城の途についた 数の後、賦削江を贈て午 川城府町を温泉、次で、 機能はこくより正に 博物館、京港批磨本研

學理に基ける

際店デバート環島部に有り最低資糧量 **瓦宛** 用量一回四—八 **配完 植村製漆所** 旦三回服用

平漢戰線從軍手記[4]

九日【贈】

賴みの飛行連絡

わが半島空の防備を固めよ

のために一身を挺して、治山治一場するであららら

夕刊後の市况

1

11.00

見える。急性の盛んな時に出る排糸。一性臓性淋系で必らず底に沈んで贈と血

薬價低廉で

素人にわかる 新 治 療

淋 欄介紹 病 篇 東京日比谷病院長

等學博士

獭 周

病が不治とは素人の盲斷であ

なく、強しい、特別はなどつて見るとかしの高くさい。 なり、 かけばなどつて見るとかしの高くさい。 念の間をとばした二時間は使用する。 口を耳動りの気がを認めない。

七年的に成当気候の難り目の夢り目の夢り

+

* 古田郷から冬代三月応で鴻顕す者 ち。街日日には関る語みるなり成誌 時に二元派を召として翌日課を見る に会しなんで終末して翌日課を見る に会しなんで終末して第日課を見る

通信筒投下、吊上げの放れ業

朝鮮防空器材費

献金を本社も取次ぐ

皇軍尉問金(群を略すが 京城府鎮江道一六 正1

京城野北米倉町八四村田南店五十二二四六十三三銭 百圓 京城府北米倉町八四

五十四 京城時北米倉町入四一 朝鮮防空器材献金 果計金 六萬八千五十 七**四六**段也

組合せ決定

諸會社の拂込 脚整法を前に

つて戦き度いと存じます。

知れないので御座います
て、広敷な妖態になるかも別り
して何時如何なる場合に帰還し

を抱いて別る様なものでありま「戦だけで御座いますが、時間の観を抱いて別る様なくお腹の中に連弾」はたけで御座いますが、時間の観を抱いたび路に立る経い必

過するに従って、炎症は影響とな

リー周階に向って擴かつて、途に

即より一度官院委に権りま事が海理群になれると存じます

初期に於て拘氣の軽い間は、只見

けでは危機であるかと申しますと

けでありまする

伏して伝ばないといふ事が

ないのであっまして、一様に重い 一度決して軽々に取扱いべきものでは といい 大體に於て實勝後と云ふ病氣はい

を取るものであるかと申しますと つたと致しましても、又再発する のでありまして、よし一時おさま

次に直勝炎は其の後とんた影通 といふ事は、棚様とも明されるも



一その動間の一助にするにいさはし

華 淳

盲

膓

炎





1-1U

この運動が全国派を消え





出来ない深い味はひを持つ生地と

更角小紋におこれ勝ちであり、中 豊富に使はれることになりま ものが新にも続い取りにも紙に出 光づ崩れた部分に白いましたり、線値に行れのひとい白獣は 巻言に使はれることになりました。 線値に行れのひとい白獣は



色目が豊富になりました

自動の一寸した河北なら石切れに

汚れの除り方

者の多いものなのですが一般には「向としまして、全種に色目が大製しまて選人の間にはまことに受好」さらしてそこで、今秋の新しい個

◇此秋のお召◇

お召は――集物では味はかことの一ありますまい

部室を閉め切つて見ると窓の汚れ 落構さで現で活かついたり、下の ばお子さんのある家庭では、株に れをいたしませら、一と真を起せ や 博の修成と一緒に撃る是非年人 室内の無分が大切ですから、陸子

が脱れ落ちてゐたりするもので

は非常に範疇しくわびしいもので

もじで天ぶらの夜を指へるや 片口のやうなものにあげ、おしや

推験油を受ませてトントン町~や らにして除れば粉腫になりまする し、クレヨンの著書は柔かい市に 機樹をつけて擦ればすぐ除れます 芳し壁の隅が跳れたり穴が出来

出来ますが色壁は壁場でも貼るか うに感じても乾くと白くなります 白壁は以上のぞうにして物質に

壁紙の貼り方

子術せずに始見的な治療だけで治 の整師が、官職炎に似する疑り、 小見料実の他の料を開はず、凡て

でれたらば何世に姑り的な手段す で等とは、特別の場合を除いては 情識 となつて居る様なわ 現も亦、之の時間内が最も及い事で創建いまして平衡の遺跡時 手術 医胃上口表表分分 ふ事になって居るので御座

大に盲腸部に有つた酸は、共禽大

りますが、化器は仲々容易には、

関係の質問は至々様大

0 生 古下駄をご覧の通り 方集

物

迎し、左横がらで中は戦気だくも

もはげしいものでするそして古く なりますとハナラを近してはく無 はなられるのだけに、そのヘリガ 下戦は私共の日常生活になって 作り方は極めて敵鬼で、まづい いものでする

は前のやううに体験してから終起

面に裾をつけ、総の中央部から

がらへてをきます。 壁の穴や崩

棚は生歌四、歌遊音六の割合に

己か好ましいでせる

の歌なカン・「「帽を繋めて盛大な

作りますのも趣味あるものです。 るのも関しまれてそれがたまるも にもなられもので、さりとて捨て「をしてカンナをかけ、それに人間 これはまた議殿の無験はきにもよ つとつらかけてはくモダン監物を う 花碗き切ふ館の骸歩に、ちょ そこでこの古い腕下駄を利用し の横に足形を描き、脈にて花挽き おしエナメル等がありましただら 【機物に帯収ります。 ナラを取つて前ハナラの穴に埋水 な味です。並つて著き人々には歯というれたらを観を貼るに限りま 節の先の傾倒より釘付けしまする 七四三列、長三十一種に切り、前

付いてゐて力强さを感じさせ、さ っしてその丈夫な眦に於て現代の (形板の返摘は無数で、他説もま 他 ちまちですが、光道のものなら 上晩、類音式に一枚十銭以内で は 十五銭位なら機能物でも色のよい いものがあります、もつともこり れた例のかさいものできた場例 と云つて膜い地様もあり、いづ に

になってゐるやうでも大第にピン いちくり題すとだぶつくととがあ は紫外伸びるもので片一方ばから 伸ばずやうな心特ではります。

ります。からして貼れば最初は極

一本格的に治療するに限る! 一時的の治療では駄目です!

液が逆流る。胃腑が重くるがする。茶酸と云つて酸い

それは昔の事。その夢思ずりはめ

やかなものが得られるのです。し

す触りなほすより安上りで、時間

等的二十四錢、卷通一卷的二十三 多摩錦術像一キロ二十五銭、同一

先きに貼つてプラシで四方へ幅~

京城府公政市場では七日から自 で精米原料が著しく低落したため

胃病で一番多い

金

つ 定

超光型

家 庭 用

M

E)

金七桁左四

数 定居 招 相

行例と保健を証明せるオキン

胃酸過

今年の存作・新米の出題りが頂

白米値下

は技術の進步を語つてゐます。と

した複雑したもの、日来るの

いひますのは、色彩の標案、便能



廢鐵を集める運動

岡磨さチューヴも弾丸に?!

八團體銃後の役割に

題色も少く、よほど耐久力 排つて置くやらにすると。 は羽根パタキを用ひて埃を

先▲六段

饭塚勘

郎(正常) 古(服)

また。同じ歯に力が強く

塗り替へより壁紙をはれ 位の水幣性ペイントを買つて来て 要量が密特量から一種二十五郎 紙を貼って平らにしてをきまれ

解かな家居の美しいこれからは

端を活用した 計

飯島 (別義 一時間)子八分

を下りたのだ。小泉七段の△三城の分岐は薄く一つの世 してゐるやりな組さへする 概約なる二八淵軍に向つて、鎌砲 飯場六段は延時の施行、即も持久

二 △七四歩にも△三六歩だった。△
こ 五三線に▲五七線、小来七段に終 三 五三線に▲五七線、小来七段に終 音 20 歌 小泉七段は楽に△大四線とは立つ て来た、小泉七段は楽に△大四線とは立つ

Tomosan



しな用作調 藤 低 格 傾 をふ。代金引後にても即時発象す。 着し品切れの時は直接腹實元へ仰往文を各地の薬店及びデバート總品都にあり。

販賣元 友田合資會 東京市日本橋原本町三ノ一 新特口座。東京·一条元田本橋(最大)。元二、岩

旗は戸毎に

築は北島

MINITED TUBE

か下痢を伴ひ、腹が張る場合もある。 胸やけ 症狀があれば胃酸過多症です。 しく、食後或は空腹時に痛む。そして便秘

の分散を多からず、少からずする作用――第二に、骨の分泌線を整調して、する作用――第二に、骨の分泌線を整調して、 第一に、質問温をに起る書のあい過剰成とな

此の作用は今までの胃腸薬と違ひます。

れば、胸やけ、呑酸、胃部の脈迫感などは り、腐敗酸酵物が一掃されり、腐敗酸酵物が一掃され

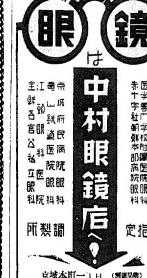
胃の痛みは消失し、胃の働きが活躍となっ も健康便となります。 て消化作用が充分となり、下痢、便秘など また胃の粘膜の炎症、 摩伽が回復すれば

早く回復させるのが頼じい特長です。
く、胃酸温多の消薬を治療して、異から
があったモサンは、一時的の制度剤でな 慢性の胃酸過多で悩み、經過思にしく

吸寄作用によつて、一日も早く、本格的ない方は、この最新の胃腸薬トモサンの に治療などる事をお契めします。 を放入(十月堂) 150航入(一月堂)

許特黃專 保溫材料販賣 ·果斯、杭菜、圆瓣、川森田> 田文 精 遼 縣 考 樹 力 聲 カラ 霧器 京伊藤保温工場朝鮮東京等店市町四三番城 型蜂遊場 (頭語 神》 吳小西山納)













小林商店圖書部









陸地測量部發行 日數第250至十

定指御





















はさほどがハずに捨てくしまふる 水ももらされば緑の下に建つて屋 各地でこの精験品を各家庭の限々

☆既としての、兵隊さんたちの見。 にころがつてゐる。空職、パケツ

多數多機です。只機然と精神的な一になります。そこで構さんの基所 関で生産の少ない他の問題が重大 互に、出征兵をおくる街頭の腹獄

るものがあると思はれますが、お | 役割を果したいものと思ひます

一 なの製造に、我一つものがあると世はおますが、お「役割を果したいものと思います。 一 「神幹」に、或は武一わたるとすれば、その特果は大な「のみに解ばす。ほんとうの法様

にあるもの、株に婦人の心がけは

手||帕 有波は斑や盛に比していた。近の草類が愛用されますが には、艦艇のあたくかい布 秋から冬へかけての既物

を時々収換へて限くぞうにるしくなりますから、左右 おると、損職がついてみぐ

布表草版の

(側は△1]三非途の局面) 泉

第

に地争につきものと空襲に聞へて のは、何としても婦人の自己の 6婦人の動作がその防空の

いて子を思るものは趣

せず、胃の粘膜は谷々共脈して脂々の胃腸陰害を動しこの胃臓過多症は、一度、慢性になると容易に発症

胃が思いと思へば、十中の八九まで胃酸過少症と世界が思いと思くば、十中の八九まで胃酸過少症とは

版人雙風災 美国的問題 電神程器內 型質和時 思可與兩層

後には至此的に強制級化して來言す。

恵と思いトモサンの

+

好、ハミガキのチニーブ、帝平素の犬のあいたのや、鄭瓶の古、古

送りの人がその全部ではありませ

各特場を してしつかっと 目さばどうへずに捨ていしまいも

る努力に依たねばなりません、残しなるのです。 **労膾です、 旦つ又昨今の様に北支**

冬への部屋の装ひ 汚れや崩れた

トモサンの吸著作用とは

大賣捌

異力級等代用が配線を高め盛んに質用されてゐます。 れてゐますが、最近では──重要指でないトモサンへ つて発支へないだけに、之まで極々の制設態が使用さ

忠北の備荒貯穀

つき世來の經過報告をなした 一川の株別とするか一部理会・の風教林忠茂に全力を注ぎ最近同一名歌川風や纜波復順を全部【永祉浦】始興郡では遊院至岳山

三作に浮かれず

に備へよ

冠岳山の森

四日午後三時過ぎ矢野府井は褶|来はいよく〜注目されて来た 四個国際員の批判も行はれた。だ問題も議せられた模様でその特

の機能問題も高く大晴となり府 | すれば如何にするか等の突き込ん |

は折角権た樹木を折る不心得着 となる、登山者相つく昨今、中に 各面、發素官院在所、砂川事務所 あるので
那林芸術員が
陣頭に立ち いよく一秋のハイキングシーポン

平頂】波瀾曲折を極めた平壌府とするか文章仪を府側から出すと 地一帯は見事に緑化されてきたが

W前祭を執行した | る程派といふよ環境歌を呈したま、た御湾音の衆衆大を保行即九時中には愛國婦人會員が同議。戦らしいとで本年は帯水表題によ, 神宮婦師で聴歌賞起下より臨はつ

かる多量の太刀魚の水場げは全く

ではよる三日午前十時から同地大

【忠州】静信室では左の日間で奇

【永同】那内按測變國婦人會分賦

愛婦御諭旨奉戴式

匹千圓もする

| 同じ念製、 | 国歌宜揚並に息軍の | 唱へてあるが元山漁組に於けるか 1年前九時から官民官数十名丹陽 る多く連日三百組にも上り安値を

長久前腹祭を執行。 艾四日午

「丹陽」応軍事後援聯盟主催で一

武運長久祈願

【元山】漁業担合春日町収資所で

は言言頃から太刀魚の水揚げが頭

久邇宮家に

の如き御形配を殺し巡しんで将 一個リ永井仁川府尹は府民を代 **|川】故久遡宮冬郊王殿下御堤**

その他林業移民や少年移民

三日般政団(阿)十四日山尺任)十二日收役(内山青杉)

仁川試作田

宛九十組に百八十四の可愛らしい

七川」府では去る大月十四日の一塊行した京城府外指柳前朝鮮密復 れて締き継を立てしゐる。これを常認の強猟が理やかしい毛に包ま

賣上げ減る 料理屋も大不景氣

の東上げた者しく減少し、破に称 | へ物理店は五分八郎、朝鮮人物理選により甚内における金融推進度 | 分五郎、準品類は三分三河、内地選により甚同橋一般の消費和数と點)年に比し一分五原、一級商店は七 水原の非常時局相 (四葉) 債権二手仰の名は二頭が

八名、杣夫六十六名の剛性あり模様を日五十三名、少年神民七十 を仰て四百八十名の栗客あり、秋浦以焼きの阿船は定員増加の酢町

O二九章、九號三、四四章 六號對韓二、七七六章、五號八

となるを作る。機不能であった

珍客萬來賑ふ清津

八尾塚の島々を散蠍する高台、山宇会・竣工・かに未気・繋り、

野積み凹の大火

苦を焼いたのみで損害僅少

魔の山より出火、折橋の具にあふ一脈も手のつけやうなく、並び起 【報南頭】五日午改三時十分頃形一火松の引込無く附近を流り入後、一し、技橋である くうちに置ひの古 魔庫も一時を窓に蹴したが幸ひこ 川も抗機の状態で水器さんが川 原因は列車の煤煙

麥播實習會

- 教人権医療作——清州縣南一面 「力た権敵が暗脳なら難り出で、鋒(誘司決主任以下飛ば隊は東場に駆信所者)「他既聚、秋の夜に血験」に発しかくつた近、本地り鐘を持(常召集の上版第五線歪網を照り西 兇器は草刈り鎌 犯人なほ五里霧中

清州の殺人强盗

拠土に否動を続けてゐる

【街州】邸では本年秋作村から季 改良者職を實施することとなった

斗山川御水川(で)は五日の清州市 | を擽つて斬りかゝり、囲地脈から | けつけ大活脚を開始、一方指州法 常召集の上版派な捜査網を殴り西 2. 現代を受し、金融に従した背州光文の二人が砂原に倒れてゐる賦た可人の長男。 柳文樹及び傭人事

一所开幕前一面

併出、米段間前路を清州から教室、郎、狐面を滅る斬りにして観殺の、現場は鮮命保海として遊戏を選めた資中にしての弱途、午後十時頃、で大体戦を演じば概と嫌で神の頭、説を選げ死績を 解説にばし たが過ぎ半一頭を置り代金百十両内外 二、三町職れた進路下小河の砂原、院支腕系視者も近ちに出動して秘

あるが常川餐では不眠不休で班人 をしたらしい疾跡があり、附近に は現行用の草刈り鎌が疑されてる 動績集配手表彰

僧向し六日午前で一時飛用、 【開機】鈴川概要局長は盲目 鈴川專賣用長 開城を視察

熊健弘

局田郷所で少熊後目下作業中の紅 で府職権影響を助れ新年娯楽の後季を基を連続の上加藤所社の案内 後七時頃間報の途についた 虎疫豫防注射

里の地数、右斗山里南部帯の中間「上、所持金を奪つて逃走したが被」である、なほ池行辺場は被流者が「侵襲、劣形された

またも萬壽台から

日露役勇士の遺骨

墓石の銘に『近藤正義之墓』

米澤出身の青年將校か

行った 一對し一部にコレラの強助注射 五、七届目所内の指定報者二子 関級」開級署では府と協力し 開城で施行

栄那守の講話があるはずであっ の勝時かあった、たほ小傷後で 水肌】六日愛徴日に當り色度

水原の愛國日

|型を振り出した平振な場所の近職。 現場に急行調査したが議場された||寺で漂うな比較を行り近く平壌陸(平通) 最に日清絶役の勇士の改一別でも鳴き同様からは係貞が前に | ・れらの進州をとりまとの収不納

城には「山形脈来源中土族(二十)「こう」」というは、数石の裏面には「近麓正義之墓」 軍幣地に埋葬することになった

いるに供養

【仁川】子人針たらの千人類草が一又同日龍岡小學校問窓合では去る

本紙の記事を見て 人·煙·草

仁川一婦人の赤心

海岸町三一三中村一班校の運動會で関店を出し収益し

でさんは六日憲兵分遣隊を訪れ、た十圓を、朝鮮潜々造組合では國

防災、衛門軍

として計二百回を寄

このでは一人でいといい。集の様。 花し愛園の赤蛇を地礁した

作で下さい。上橋々とりたく と手人の人から一本づつ取きま

と他に属于本と答式。一で各部番毎に時局認識理談を開脈一

【開城】開城層では管内各駐在所

素難として七日から三十一日ま 時局認識座談會

譲渡か はた併合か

(計の平壌府電

国の精神協調能事受好の念及び戦

後一時から府職員總山で、宿刈 粉消扱作を聞る主旨の下に七日 一回記念として植竹けた稲が根が

に機町の遊祭試作用で第

稻葉府議はか四議員を招き

矢野府尹愼重懇談

勝果はいから、京都近代をで は旅行に便利で永へ保存に堪へ、 京畿道林業會で 袋入りを賣出す 安町公野校)朱安町、櫻町天宅) 孤双町方面本十七日 水原も施行

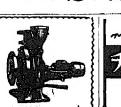
【水原】色では左肥日倒で秋野 新 迎 经安 北大樓

仁川恣禪會行事

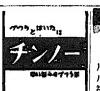
緑合効果を十分に酸抑 A・Dを含有し、その 沃度と豐富なビタミン ン活動を活潑にする。 に作用し全身のホルモ ネオス・エーは甲狀脉するからである。 卽ち する所以は大量の活性 やうに色々の効果を有 ネオス・エーが上記の

る。結核菌を殺しその がげ、血液の循環を関 物にして血壓を安定す る。結核菌を殺しを 新陳代謝機能を旺盛に 毒素を排除して結核疾 して諸器官の老衰退化 ◇爾森・# 秋 = ハボルフル ◇ ドダ 發 動 機 ミ ねのくち式ポンプ ۴ カ

各 資 6 世 8 東 明 商 會 京 城 出 强 所 京 城 群 資金 町 一 丁 目 電影本師(2) 3 3 0 1 语・細智中臨城域5 5 0 3 语



血激素淨化



9

金建

克服



の挽

0

龙黄

分に發揮されるのである。性である治病、强健の効果がつて、これでこそ沃度本來のつまでに無い沃度劑の完成でつまでに無い沃度劑の完成でつまでに無い沃度劑の完成では、これでこそ沃度本來の最近に無い沃度劑の完成で

房藥井新社で町工通門大庫城県

八大〇- 九〇四 電八四四三,四〇九 不本六一 饭息替桶

+

渡したものらしい遺伝があり飲り ついいて軍戦・ガラス製水協二人

|届田に接した平均電長駅的||線といけれ平壌電兵隊では取改す|| | 郭北は安州に兵を集結し のが今年線に際し職機の月も同じ 十月に掘り起されたのも何かの命 れて供養する人もなく標過したも いつの間にか熔職まで地下に埋ま

てゐる。長い間靠風秋雨に贈され

前配日解性戦災者の近性機能につ

窓問品に勝栗

於平壤兵諸病院務』と割みこまれ

八合の外)七十歳、阿製の他備 組の利いた熱間殺人で代金は一

元山漁組管内に近來の珍現象

太刀魚物凄い豊漁

の的となってゐる。

時局座談會

「日川」府では秋季定期補血を左 極端を要するものは出生より一年 の日朝で施行することもあつたが

(本村野務出任) 七日老際面

の現作であるが七日から共同 【米阿】郡内の全年が花は近年 永同の棉花共販

シネマと渡り

全國薬店にあり

院 意 隨 院 八 磷脂花油取治明域 。 三七八三 年電



築養を高めて體質

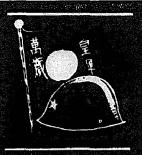
携帯容器入新發賣

を强化するのである。









て之等の綜合効果によつて、衰弱してゐる胃脇の機能に活力を與へ、

傷を恢復し、胃腸の組織を強壯に立直すので、

從來の對症藥と異り、

損と

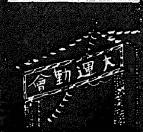
參加方法

と」にはピタミン始め多種類の榮養素ホルモン、活性酵素などが含まれ

人では薬の選擇だけでも仲々困難とされてゐました。ところが「膿わかも は下劑を、といつた樣に殆ど化學藥劑による對症療法であつた爲に、素 アルカリ劑を、胃腸カタルで下痢するものには收斂剤や炭末劑、便秘に

従来の胃腸病の手當といふと、胸やけする胃酸過多症には重曹の様な



















胃酸過多症 なり、従つて胃酸の分泌作用が調 整されてゲップ、胸やけがとまる 恢復して、胃壁の收縮運動が活潑 チャいふ水袋を振る様な音もとま になり食慾が進み、胃のボチャボ してゐる胃腸の細胞機能が正常に の人が服むと、衰弱し た胃筋肉の細胞が力を と變調を來

> も健康便に恢復する。 ならば、便秘の原因で

通が見られる様になります。 縮が正常に立直り腸の働きが活潑 になる結果として、一日一回の便 ある臈の弛緩または攣

京師 設めかもと本舗祭養と育見の動 回・五歳前後には五十日前・一権前後には六十日間になる。一百歳は大人には廿五日前・一権前後の皇帝には約四十日 三百段 一圓六十銭・一千段五 藥價低廉一日僅か數錢

ろくの胃腸病に用ひて廣く効果があります。 ら出まてつ消化がよくなり下痢便

の人が服む

◆わかもと本館では一千歳小機免産の変を必ず悪校へ御客附下さい。 を必ず悪校へ御客附下さい。 を必ず悪な終ぎ指聞を御寄賦して居り ます。わかもとに住中の教育場の野機館 を必ずとなります。 を必ず悪校へ御客附下さい。 (カナでも可)

殿賞期間 中二月十五日まで 先 最寄樂店へ御持参下さい

惩竹大船摄影所特作 孫、南、南選手の語解 健康への交化映画 大和武士の単 時局ニュース特徴 | 入場券は各地わかもと販査店にてどなた様|

ゼ、リバーセ等の消化酵素の

分泌が増し、吸收の機能も自

はヂアスターゼ、

プロテアー 減退したの

獲 獣 学 則 の 大給 春 迅視の整化 わかもと本舗栄養と育兄の會 取コ I L

主催

朝鮮各地わかもと販賣店

于十十十十十九八 八五三二一 日日日日日日日日 日日日日日

4年で肺腑政の総附名、経患名と、左の職なケースを切除って、その角側、神住所維建名 問題の答を必ず御祀し下さい。 わかると空ケースの上下の部分を切り拾

東京市芝公園 わかもと本舗築養と背兒の☆ 彈丸触納

閑院參謀總長宮殿下

畏し、白衣の勇士を御慰問

東京第一陸軍病院にて=電差

最寄の書店、本紙販賣店、又は直接本社販賣部へ。

の郵後に渡み六日京御道保安縣で「百六十ケ所において行ひ、係員二一自動車、電車の通過する豪數を調めたところ、昨今またも変通審故 | 日午前六時から午後六時まで府内 | な郷鎮に立ち牛、馬車、一般車機

現後はじめての交通法院盃を十二 し府内の目覚通りや、交通の頻繁 京城府都市計事係では行政區域域一十餘名に京城商業生五百名も

料染色場 を設け一般府民に色表 は十日から十五日まで、仁川に十

に依る条任度をさせるとにたった 日から十五日まで二階所に「無

樂品類を發送 勞働者の為に

幼兒無残、轢死

知者郭耀思北線第五列車が消州区

あるが、本府はさきに平南北、**成** 完無は頭に加はり感情が流行して

最前遭度】十七度五 重、後小用技術できのかの

定價一圓二十錢 四六判 八百頁 【清州】四日午後三時四十二分消

一層これを徹底させるため、京城一直もに南瓜県に増き込んたが開るが、超進か時の昨今京郷道では一本を切断された上に重要別を紹介

全任が続けつけ貨地機能した

養鶏場荒し

衣へと半島民に色衣楽雕を行った

大運動と共に不經濟な自衣から色

標果、非常な好成就をおさめてゐ「停車したが間に合はず、左手指五「を七日から朔天婆娑することにな衣へと生鳥氏に色衣樂戲を行った」。 が縦踏上にゐるのを發見、急しゃ、周復、降쀼観にど九十三百點

和泉町地内郡是製糸工協寛大カー「南北に貯蔵した野働者の身の

の明治町中郷予主人がお得

これも、日本人經濟

心をした極邦人の一人なのだ

(部人である、戦闘の母図に60 經管者は依然として弊良なる

座機得共日本圏を郵散数し への帰郷版に『支那開籍

形文、担獄の残存にも がくともせぬ がくともせぬ がくともせぬ

咽喉の筋腫が

難を取断せしめる 楽器の概要は

汪經進行中、同町居住安一加 案じ怒氣鉄、臂船鉄、

ぶ冬仕度前に奉仕

本を切断された上に頭蓋原を粉除

十二日府内目抜きで

開北方面へ戦車を先頭に突入する我陸戦隊 (帰羅路附近) ― 航空便

成績を挙げるとを得たが、支那事 を上共に供然緊張、銃後の黙臓に

一促した結果大艦に於て所指の 船府民の交通道徳に置する自

世週木曜の交通訓練を中止して

の定め府民の交通訓練に努め併せ

京商生も應接し

交通量調べ

する交通協議から府民を設けん

とたために費い生命をあたら機性、事故も想るよ」と来認から逆に交して欲しい。と言つてゐると、不社蔵または交派道徳を無職した佐僧はあきれ近り「これでは、で失っことだく、生活領域

で失っことだく、生業和國に連進

内各級と協力し今春以来、一寸一度すの狀態で、府民の人権に信頼一向上に努め其い生命を交通事

京城府民は「本」各署と協力。外し振りに変通取様(通訓練を実施することにたった、 はの変悪運進に對する動館は全、三流、少し大都市の府民とてしその人権。
東りを行つてみたところ。京成府民、何武保安縣では「時局標所民は今

『これでは事故も起る筈だ』と

を興ひ主拠以下七名を効果した。一巻一二にかくる過失未送殺人事件を興ひ主拠以下七名を効果した。一巻一四にかくる過失未送殺人事件を感じませんものと頼刀で女

◇一般競球【七日】

朝鮮神宮競技

湖 地方 (21-1) 1成果

の被害動動八子間位を自由した。事より前後辿り死刑を求刑された一勝となった

| 迎手大乗で、前骨一般状態用で、まに悪やを起し、細方ば似に及び一辺手大乗で、前骨一般状態用で、まに悪やを起し、細方ば似に及び三種相類まで、を主心とし胸料。 あず場の片碑で用むつた美観の人 に混化戦人振客中、 改得道生よ音

來週から訓練を復活

(通道德逆戾り

京都電話】故碑皆祭主大職。させられるや同九時二十分御

長率仕の下に軽差の御儀を行

上げた即譲棋の前には投き達 **東場に御雅、映剣に御安徽中**

しては最月大帝(近年人宗族の狀態を根拠した報告)しめるやうなこ)を結構の活動形況、進行影談、田

位へ」と駆する様子を造りが内一大角民友者では「忠勇なる戦線各

分とする十人組の物版版一味が七 立派な金庫を埋めては東語をしま ひ込んであた前科17秒の助者を収

間が手の切れざらた十即札でし、旅の中には瞬品を處分した六十 まひこまれてゐた、倫理取賜中間が手の切れざうな十即札でし 高粱畑の痴漢

> 及び山の窓道展は八、九、十の三 スキー山振管宝雕の『暖崩の支那

と山の寫眞展の歌舞「殿前の支那」城大山旅

ら木豆まで走破した北夜道、 田品物は食具の手になる作年中 日川大澤南登三階ホールで開催。

軍

大 会将軍大元官の使命 ・ 大 会将軍大元官の使命 ・ は 田 第

京城府黄金町三

田病院

が増したので府内各署では防犯陣

半島石製態観として活躍して来た

小冊子を頒布

思想轉回者が

寝込みを捕はる 人組の字集團

引立の程御願い

ひ致します

恩

型院本局六九一带 丁州基本店 原规府京野町一丁日九十一番地

サ突本の 一然券 N

親(大阪より蹄城)本日より常ひ1・モダン藝者として顕は

理 送 府所、作外、 應機 京城府雙打橋 京城府雙打橋

皆様の

酒

場

グラウンド

₩ 新第二阶组给莱荷·

南山に金庫を隠匿

が、一味は南山の松林中に金庫

時局に奮起

単は協会としても残念だった

りより御下賜の御神に幣吊及

ン統版によつて早版丸で送られた。 近氏よりの報告にも「値段の安債」右に就いて本掛件動配告局は語る

立したものもあつた。現に酸山 常業者に再三折面の上海く引合品 校して樹高なため続便に當つて困

故久邇宮多嘉王殿下

斂葬の

投げかけてるる。朝鮮貿易協会

が、ことに聞らずも一部商人間

穏で、天津に於ても他の物品に比 際一郎所品は市債よりも高債なの

に無仕き協食係員が治療を促した

で仁川から初の婚出をした北支 下層の貨物を満載して天津に

船早陳丸は去る二日六

のであつたが、京娘で零加受付の||腕等の好配によつて引受けられた

取扱いを受け軍兵站地、消休、民」と出つて来てゐるのはこの間の事

情を物語つてるるものである、特

わが蝉鹿商品の漁田を目指

域、鮮產商品

支進出

に暗影

艱苦缺乏の中に

北文に送り種りを全館を「全部が思想方面19の韓向者でこ「では割耳してゐるとにしたもの教五萬を印頭、」方面に配布した。この會員は雅ど「の悪に出てくゐることに

火事泥的の悪徳商人が混り

産婆役を手古摺らす

日覺めよ

質協川事談

朝鮮前工會議所を代表して北安勝

てゐるので道々好結果を煽する。
果へて居り時來の道用を希望しては彼地の人々に加る好印象を

朝鮮會議所の皇軍慰問使 立石釜山會頭のみやげ話し

大学、サーザ、単主に入院 スで夜空にニュースを映し出す の復興式、牛島最初の電光ニエー

つく近代的な影響なるで表です の和信百貨店は九工三萬餘 発表中であつたが七日

朝鮮麥一株式會

祉

京回金人

秋の豪華

サービス!!

大 動 計算管理 甲醛 联络中亚 医克勒氏征 医克克斯氏征 医克克斯氏征 医克克勒氏征 医克克勒氏征 医克勒氏征 医克勒氏征 医克克勒氏征 医克克斯氏征 医克克斯氏征 医克克斯氏征 医克克斯氏征 医克克斯氏征 医克克斯氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克克克克克氏征 医克克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克克氏征 医克克氏征 医克克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克克氏征 医克克克氏征 医克克克氏征 医克克克氏征 医克克克氏征 医克克克氏征 医克克氏征 医克克克克克克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克克克克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医克克克氏征 医克克氏征 医克克氏征 医

竣工す

第50歳へ 94 HB 院 94 HB 院

CE DESCRIPTION (SEE SECTION)

鮮産品進出の精製を置き悪へて

道ませられ故王への御記

公議官大妃段下以下谷島族方(れる御道院を贈々と御殿場月

はせられる場所の御別邸では午前、蟹車は海保御表の「吹きなす」、はせられる戦争には行人の凝絶地に発きれば三十分。大に御駕東は冷人の凝絶地に死った。か御御那に発きれば三十分。大に御駕東は冷人の凝絶地に死った。かは大きないという。 はせられる戦の地に死亡を移る

故王妃辞子、姓彦王、「御徳引、河原町通りを一路南 第一吹淡桃に加芝河即の御殿。山内西南の久邇宮家御

味の下に核前祭を行はせ、輸山泉領等に辿ませられた。

ボンクーバーは 受がボンクーパーが いかを能感せしめる

剤 声 音 隙 咽

TORUJU APAHT ま アパート 最 所画生設備死金 だ 洋 ゴ A K A T S U K I 市 城西・川町 ハロ 電 18 元 3 17 9

が鋭く楽り

護れ皇國?

護い因喉グ

子子五銭身入送れ段定暦と見本大 本菜に副菜に高尚な職業、何知販豆が田來る月收 低語が要性がある東後房と 家庭常備薬素人で特別府温泉 で出来る 五銭引入送れ規定書と見本を

に百々明(ドドアキラ)さん ならち 保証した街店のコック君と何 けふの天氣 【珍名陳典】廣島縣城山

進星 久 能 木 本 店 定便 ・三〇 (使中家器付) 定便 ・三〇 ・六〇 別を認め態度。百貨店にあり

一ホーロー ホーロー看板の 住女は朝鮮唯一を誇る は女は朝鮮光工業へ はまなは日本都は女しよ

極光工業株式會社

第9 科科 以后本的2世 一一九十二年 日本的2世 一一九十二年 日本

院長 醫學博士 田病院

りました。この年齢は巻すまできてこととと、「一世に登古の巡びとなき家の『朝鮮年鑑』昭和十三年版は念ま本日完成、廣く一般に登古の巡びとな カーリー・コの年齢は中でまでもなく単島における唯一のいては最新の食料に基いての歩みを明示するとともに、更に必要な個所については最新の食料に基いての歩みを明示する社会高級の重要事象を洩れなく舞録して躍進期鮮」一年間りました。 この年齢は中でまたく単島における唯一の総名書であたまして、最近一ケ年に亘りました。

の改良充實を問り、正確と平易とを則しで道徳ありません。朝鮮に住む者 をも無ねはたしてをります。 特に十二年四日からは関年四日と 内容外観ともに

女子易な解説を附してありますので、一個には「朝鮮の百科全書」の役目

我との舞選の朝鮮に事業を祀さんとするもの。投資せんとするもの。何か仕事をせんとする場合には党づ本書を見 朝鮮を知らんとする者は必らす備ふべき第一の非たる自信を持つてるまで。そに今



深

造 醸見

| 日本語 | 日 「暴力に眠へても、倒はあなたを で加六時二五分(東)条関ニュース 県大郎三〇分(東)非貨務部権歴 (十二〇) 一般ひも何もあったものだやな一般がりを云つた。 さら云ひながら、頭部は始子を 電子は確全 配器に 揉んだ。 鬼のゐない間 (五) 時(東)幼兒の時間、覚話に乗済受神士・蛇川・虎三 ○非常時態組織所の切り三〇分(大)連續家組織 日(金) 四三〇分・ユース 回三〇分・ユース (別修設・絵山) 足帝服の作り スペ (別修設・絵山) 足帝服の作り 彼の手がボロリと鈴子の駅から贈との典章は、増大で第やかた第一 見たのは、まるで吹へられたやち 唇が低った呼吸を吐いてゐた。 程度に関手で確信の数を突き返し Tan ___ イとほお向けられるのを察した。 現穴等三分 - 財政の主演出 | 四八等三分 | 中国放送が話研究 | 八別の主演出 | 小別の主演出 | 小別の主意知 | に、倫子は片手を扱から外して、 思はず柳州を巡立てて、鈴子は 「何するんです。 乾を立てます 美しい倫子の居の前に、政権の 苦しげと二つ三つ幅いた担子に の爪が上つたのを感じた。 されてゐた殿の上から飛び払い を駆つて、そとが唯一つの出入口 の肚年期の名品である、今日は三 精、緊痛たる技巧を以て、上述の た。求めながら、飛び逃いた勢ひ 第二章 ラルゲット 三大傑作の中でも最大なるものと 禁取に對して、鋭い対照を勘き、 持つ魔大た思想、権利、権がな情 家鳴り震動がしたが、引き戸け その背中を、顕湘の伸ばした手 れてゐる此の臨業曲は、その 郞 大概楽献と共に、ブラームス、メン 同七時四〇分 駆歌のおけ が、都食生活者は更に一層格別の は、固より最も大切な要件である の國民が一番駆結するといふこと 化を目指す、俗に云へば壁面の中「頭着の布石だからである 仰、なほ左上隔も上面も一番自地」か、或は三十五のすぐ左が、先づ 口糖製し見ゆる文化施設の整備せ 周六時 ハーモニカ病炎 となれば近代科學般に於ては、 **掛銀に栗がを加へて店々として適(れに客へて主郷の技術的た総割を美たが認で流れてゆく、戯は更に、たロンドの主郷を奏し、バスはこウアイオリンはソプラノで前く能 慢かず、提続は突然に活鬼に売ち** つ伴奏が奏で、壊しい様句を唱ふ一第二種章の物館かな終結に休止を **東た無分に光ちてゐる、主題は先** 2018年1780日である。主題は先一第三乗章 ロンド・プレグロジ的とまで感ぜられる教践で荘 柔らかく、緩やかに奏されてゆく 関家の重大時局に進して、統役 昨日の白二十六は、中央また左 譜 那太德西中 医鄉 3 昨日の大細張 老巧の 茂牧水 演講 都會生活者 F-8-0 然無比の動功の、歌るる中のその ないなら、自二十六は三十五の所 へ質目の伍長が足立たね」一等兵 分類も収らう大観報。その目的で づけるのが、最き血沙に彩りし忠 そとで否々の生活する京仁地方 京城府尹(天三三 覆面道人 半関幕に連載の長尾部隊 へ全蔵像さず血祭りと関を出る時 長尾部隊の花 物事有る とまは、 二人三脚死の傳令 つた敵は包国一正に午後大時、夕応疾ゆる川上に 高く掲げる日章旗、ある古地中間 みたい あつて、即ち上面と中央も一寸白 かを、私は皆さんと共にい る気情が果して出来てゐるかどう ねばならない、さらいふ時に属す **常然敵の目標となることを配悟せ** 解打行 から放出し、この分で行けば、四 だっと北海道の方に巧い手が昨日 地化を原館した、無軽老巧の一手 コナ七の属上の三線でない四線に 朝鲜郵船川定期出帆 み、肉頭相うつ物すごも時とそ、 そして本日の黒三十七は 残に 此際四線が好い 九十月十 古里、街水、 里三十九の1手が千人力の如く 白三十二以下四子の傾面を臨門攻行四三十四日であるとならに強化です の守黙であった。それは黒三十三 い」手見く治めるし、残に二十 よめるが黒三十三の一手は晩機 しかし以下自四十二と成つて。 是一品一十九三十一も好い手 (5) との間に相當県地も男 自が高いからである 九の黒を加へた三手は

每一田帆、废作、高田市

一大き二十九のすぐ左だと

[53]

黒に (5) と打たれて、黒二十七

条内所 京城三 超 釜山三中井 ジャバスフーリストビューロー

新

否溫泉木

反重





直ぐ仁丹を常用して早急の御恢

が何よりも肝要です。

肥る秋に惠まれながら胃脇の疾

秋胃膓を丈夫に

A A

つかしい答言は

をのんてから

ルチュラきったんが大喜び

は全く目的を沮害します。

